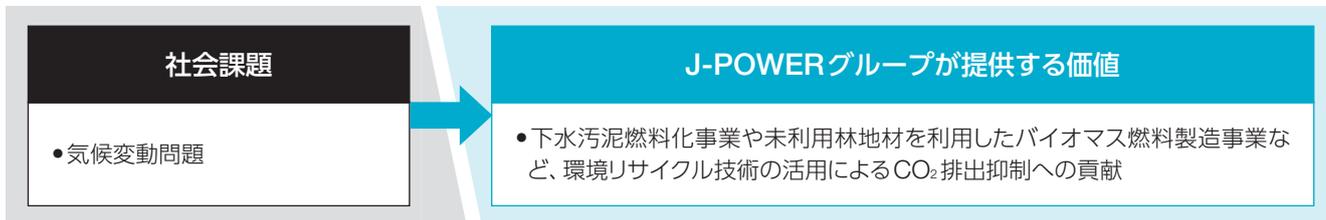


その他の事業

J-POWERグループが有する経営資源とノウハウを活用し、石炭火力発電所におけるバイオマス燃料の活用に向けて下水汚泥を炭化燃料化する環境関連事業などの多角的な事業を展開しています。この他にも廃棄物発電事業や熱電供給システム(コジェネレーション)を通じた新たな電力事業、国内での技術コンサルティング事業などにも取り組んでいます。



バイオマス燃料の事例

下水汚泥炭化燃料



木質ペレット



その他の事業における主なプロジェクト(2020年3月末現在)

プロジェクト名	所在地	事業概要	当社出資比率	運転開始年
宮崎ウッドペレット事業	宮崎県 小林市	未利用林地残材を利用した木質ペレットの製造設備建設、製造、当社の石炭火力発電所での混焼利用までを一貫体制で実施する実証事業 (ペレット生産能力:25,000t/年)	98.3%	2011年
大阪市平野下水処理場汚泥固形燃料化事業	大阪府 大阪市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所などでの混焼利用まで一貫体制で実施するPFI* ¹ 方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業 (汚泥処理能力:150t/日)	60%	2014年
大牟田RDF発電	福岡県 大牟田市	一般ゴミを圧縮成型した固形化燃料(RDF:Refuse Derived Fuel)を用いたリサイクル発電 (出力:2.1万kW、RDF処理能力:315t/日)	45.2%	2002年
御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業	福岡県 福岡市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所などでの混焼利用まで一貫体制で実施するDBO* ² 方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業 (汚泥処理能力:100t/日)	44%	2019年

他5件

* 1 PFI(Private Finance Initiative) : 民間の資金、経営能力、技術力などを活用して、公共施設の建設から運営までを行うプロジェクト方式。
* 2 DBO : 公共機関が資金調達し、設計(Design)、施工(Build)、運営(Operate)を一括して民間企業に委託するプロジェクト方式。

2019年度の取り組み

当社は、月島機械(株)、(株)ミカサと共同で「御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」の事業契約を福岡県と締結し、建設・運営準備を進めてきた下水汚泥燃

料化施設について、2019年4月より運営を開始しました。

同施設で製造される燃料化物は、J-POWERの石炭火力発電所において石炭と混焼利用しています。

事業概要図

